

第5期国土交通省技術基本計画フォローアップ 方法の見直しと今後の技術部会の進め方について

- 第5期技術基本計画の構成と現在のフォローアップ方法について
- 今後のフォローアップ方法の見直し(案)について
- 技術部会の進め方(案)について

5. 技術基本計画のフォローアップ

国土交通行政における事業・施策の一層の効果・効率の向上を図り、国土交通技術が国内外において広く社会に貢献するとの本計画が掲げる目的の実現のためには、計画期間中においても、社会情勢等の変化や計画の実施状況を踏まえ、必要な改善を図ることが重要である。本計画に示した内容のフォローアップに当たっては、社会経済情勢や最新の技術動向等の外部環境の変化を分析するとともに、その変化に柔軟に対応するため技術政策ニーズを適宜把握し、取り組むべき課題等について見直し等の必要性を検討する。

なお、計画に基づく個別の取組については、計画全体のフォローアップと整合を図りつつ、各部局及び研究機関において必要な評価等を行うこととする。また、フォローアップに当たっては、各部局及び研究機関等が実施する進捗状況等に関する自己点検結果等を活用するなど、評価疲れを生じさせないよう適切な評価及びその活用を図ることに十分留意する。

(第5期国土交通省技術基本計画より)

令和4年4月28日に策定された第5期国土交通省技術基本計画の実施について、社会経済情勢や最新の技術動向等の外部環境の変化に柔軟に対応するため、技術政策ニーズや今後進めるべき技術研究開発について、以下のように議論を進める。

1. 議題

- ①社会経済情勢や最新の技術動向を踏まえた技術政策の方向性について
 - ・今後取り組むべき課題等について、委員や外部の有識者等からのプレゼンテーションに基づき議論
- ②国交省の技術研究開発の実施状況
 - ・社会経済的課題への対応に向け、取り組むこととされた6つの重点分野の技術研究開発の実施状況について、国交省からの資料説明に基づき議論

2. 開催スケジュール

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
R4年度 ～ R6年度	議題①	議題①		議題② ※6つの重点分野のうち、 各年度 2分野を対象
R7年度	議題①	議題①		議題② ※全ての重点分野を対象
R8年度	次期技術基本計画について1年間かけて議論			

第5期国土交通省技術基本計画の実施について、社会経済情勢や最新の技術動向等の外部環境の変化に柔軟に対応するため、技術政策ニーズや今後進めるべき技術研究開発について、議論を進めている。

【第28回】

R4.3.24

第5期技術基本計画(案)の審議

社会経済情勢や最新の技術動向を踏まえた技術政策の方向性

国交省の技術政策のフォローアップ

小委員会等

【第29回】

R4.8.2

(テーマ)
カーボンニュートラル

【第30回】

R4.11.1

(テーマ)
社会資本メンテナンス戦略小委員会 提言書(案)

R4.12.2

国土交通大臣への
技術部会提言手交

【第31回】

R4.12.6

(テーマ)
デジタル・トランスフォーメーション

(テーマ)
・ デジタル・トランスフォーメーション
・ カーボンニュートラル

【第32回】

R5.2.16

【第33回】

R5.9.19

(テーマ)
防災・減災・国土強靱化

- 第5期技術基本計画の構成と現在のフォローアップ方法について
- **今後のフォローアップ方法の見直し(案)について**
- 技術部会の進め方(案)について

位置付け

科学技術・イノベーション基本計画、社会資本整備重点計画、交通政策基本計画等の関連計画を踏まえ、技術政策の基本方針を示し、技術研究開発の推進、技術の効果的な活用、技術政策を支える人材の育成等の重要な取組を定めるもの

計画期間

令和4年度～令和8年度（5年間）

構成

第1章

現状認識

- ✓ 自然
- ✓ 人口動態の変化・少子高齢化
- ✓ DX, 2050年CNに向けた取組
- ✓ 新型コロナウイルスによる変化

毎年度末
国交省の取り組みを
フォローアップ中

3つの方向性

- ✓ 強靱性
- ✓ 持続可能性
- ✓ 経済成長の実現

今後
分野横断的な
技術政策について
検討の深化が必要

⇒集中的に議論を行うためのWGを設置
(資料2にて説明)

将来の社会イメージ

- ① 国土、防災・減災
- ② 交通インフラ、人流・物流
- ③ インターネット・ICT

第2章 社会経済的課題への対応 (具体的な技術研究開発)

1. 防災・減災が主流となる社会の実現
2. 持続可能なインフラメンテナンス
3. 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現
4. 経済の好循環を支える基盤整備
5. デジタル・トランスフォーメーション
6. 脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上

第3章 技術政策を推進する仕組み (分野横断的施策)

1. 持続可能な経済成長を支える基盤の整備
2. 我が国の技術の強みを活かした国際展開
3. 技術を支える人材育成
4. 技術に対する社会の信頼の確保
5. 技術基本計画のフォローアップ

- 第5期技術基本計画の構成と現在のフォローアップ方法について
- 今後のフォローアップ方法の見直し(案)について
- **技術部会の進め方(案)について**

技術部会は、国土交通分野における科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策について調査審議

- 国土交通分野における科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策について審議する場
- 国土交通省の技術政策の発信



今後、国土交通省の技術基本計画を政府計画（科学技術・イノベーション基本計画等）へ反映させることも重要

令和4年4月28日に策定された第5期国土交通省技術基本計画の実施について、社会経済情勢や最新の技術動向等の外部環境の変化に柔軟に対応するため、技術政策ニーズや今後進めるべき技術研究開発について、以下のように議論を進めることとしたい。

1. 重点分野の国交省の取り組みのフォローアップは引き続き行う
2. 分野横断的技術政策の深化
 - ・分野横断的技術政策の方向性について議論するWGを設置
3. 政府計画への反映
 - ・技術基本計画を政府計画(科学技術・イノベーション基本計画等)へ反映できるよう、次期技術基本計画について1年前倒しし令和7年度内に策定

4. 開催スケジュール

※必要が生じた際には追加で開催を検討

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
R4年度		テーマ別議論	テーマ別議論	重点分野 フォローアップ
R5年度		テーマ別議論	新規WG設置	フォローアップ 新規WGでの議論
R6年度	新規WGでの議論			フォローアップ
R7年度	次期技術基本計画について1年間かけて議論			
R8年度				基本計画の策定時期を 1年前倒し